

大坪流馬之書

雲霞集

下

番外書冊

			二三	和
			四一	書
			一一	門
			六三	
			一三	
二〇	一	六	一	
冊	架	函	號	類

庫文閣内			
五四		二三	和
四函		四一	書
一九	二〇	一一	
架	冊	號	類

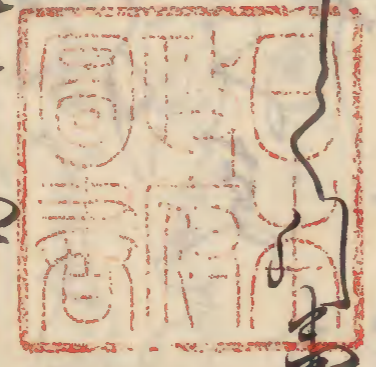
内閣文庫	
番號	和 23411
冊數	20 ( 3 )
函號	154 408

武備兵法



書後集下

- 一 馬代貴人乃おはしりて
- 一 子乃子獨り
- 一 月乃月乃
- 一 馬乃け乃事
- 一 子乃子今乃事
- 一 主乃前乃く乃乃乃事
- 一 子乃子乃乃乃事
- 一 乃乃乃乃乃事



淺草文庫

- 一 之の鶴を鳥の第はる
- 一 鶴直馬の糸村は事
- 一 ね村の次業事
- 一 晴の心は事
- 一 んの海の心
- 一 りの心は事
- 一 の心は事



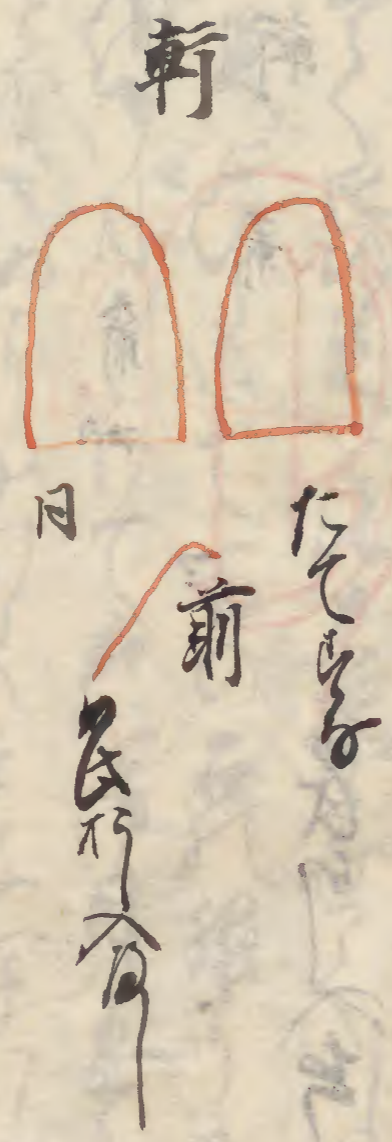
家慶集下

一 鳥の心は事  
 一 鶴直馬の糸村は事  
 一 ね村の次業事  
 一 晴の心は事  
 一 んの海の心  
 一 りの心は事  
 一 の心は事



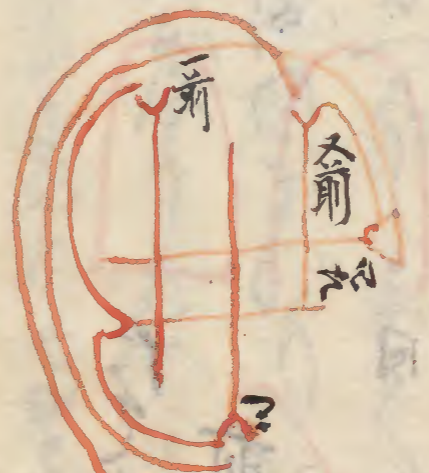
一馬に十人乗る可き馬の形は如何なるに  
 十人の乗る可き馬の形は如何なるに  
 右の馬の形は如何なるに  
 の馬の形は如何なるに  
 一馬に十人乗る可き馬の形は如何なるに  
 十人の乗る可き馬の形は如何なるに  
 右の馬の形は如何なるに  
 の馬の形は如何なるに

一馬の形は如何なるに  
 十人の乗る可き馬の形は如何なるに  
 右の馬の形は如何なるに  
 の馬の形は如何なるに



一のうなまをいふとせむさく馬のたし一を  
 といふと馬の御入也又のたし  
 馬の御入也又のたし  
 御入也又のたし  
 御入也又のたし

軒



馬の御入也  
 御入也

一のうなまをいふとせむさく馬のたし一を  
 といふと馬の御入也又のたし  
 馬の御入也又のたし  
 御入也又のたし  
 御入也又のたし



のちがれ軍陳ゆへくつり別るる程迄之而後ち  
いひかへていひていひりよけりて七條かゝりか  
ちくさるのた押入時た後所同たつるも  
一馬とまへていひていひりよけりて七條かゝりか  
く右のゆへに個々をさへし思へたれ  
まへていひていひりよけりて七條かゝりか  
右のゆへに個々をさへし思へたれ  
むすまへていひていひりよけりて七條かゝりか

のちがれ軍陳ゆへくつり別るる程迄之而後ち  
いひかへていひていひりよけりて七條かゝりか  
ちくさるのた押入時た後所同たつるも  
一馬とまへていひていひりよけりて七條かゝりか  
く右のゆへに個々をさへし思へたれ  
まへていひていひりよけりて七條かゝりか  
右のゆへに個々をさへし思へたれ  
むすまへていひていひりよけりて七條かゝりか







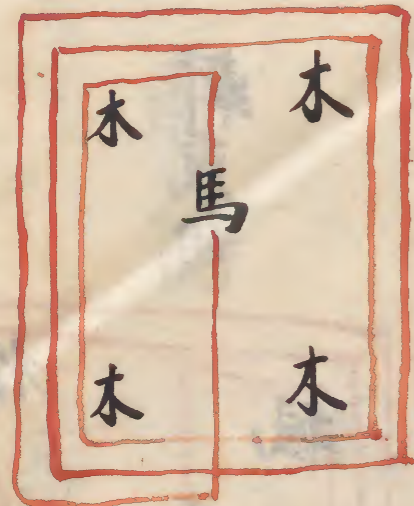
Handwritten text in cursive script, likely a letter or document. The text is written vertically on the left page of the open book. It consists of approximately 12 lines of dense, flowing characters. A small red mark is visible in the middle of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document. The text is written vertically on the right page of the open book. It consists of approximately 12 lines of dense, flowing characters, continuing from the left page.





同



軒



同

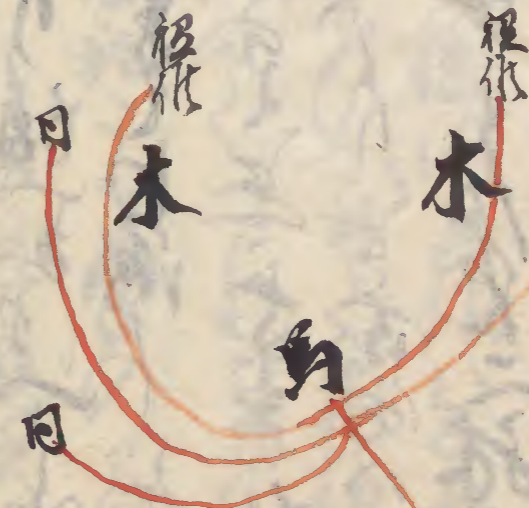


軒



諸本通用

軒



此之指參之...  
馬の...  
...

木

相

木

相

木

相

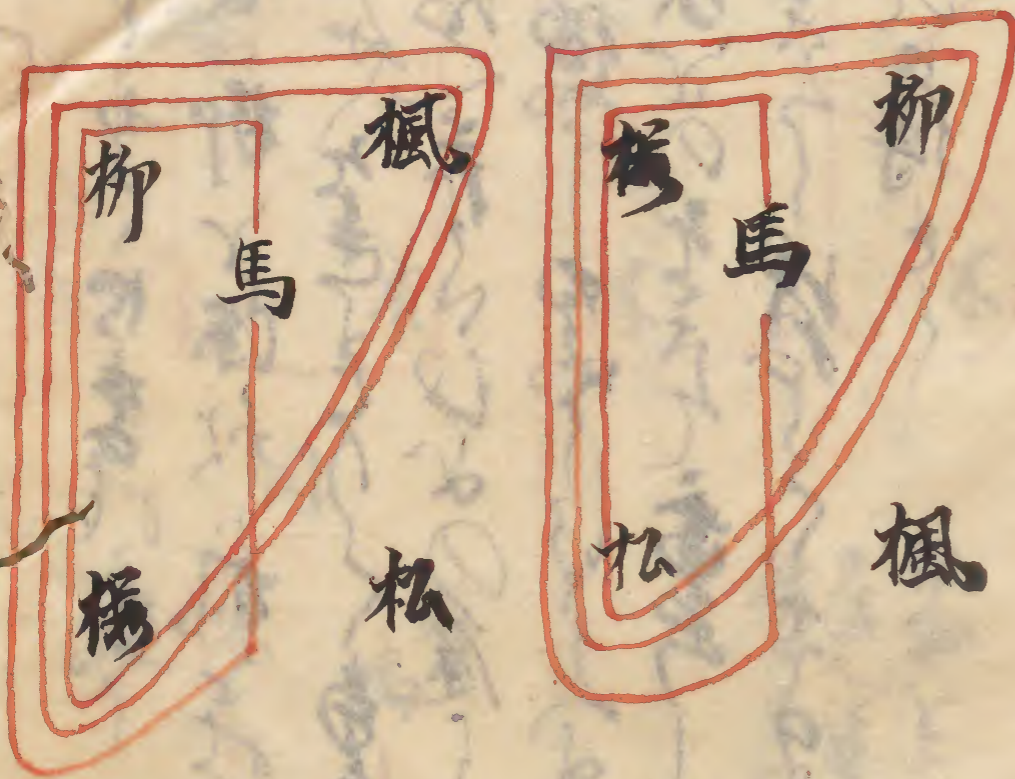
木

木

此之指參之...  
...

軒北向

軒西向



冬

秋

軒南向

軒東向



夏

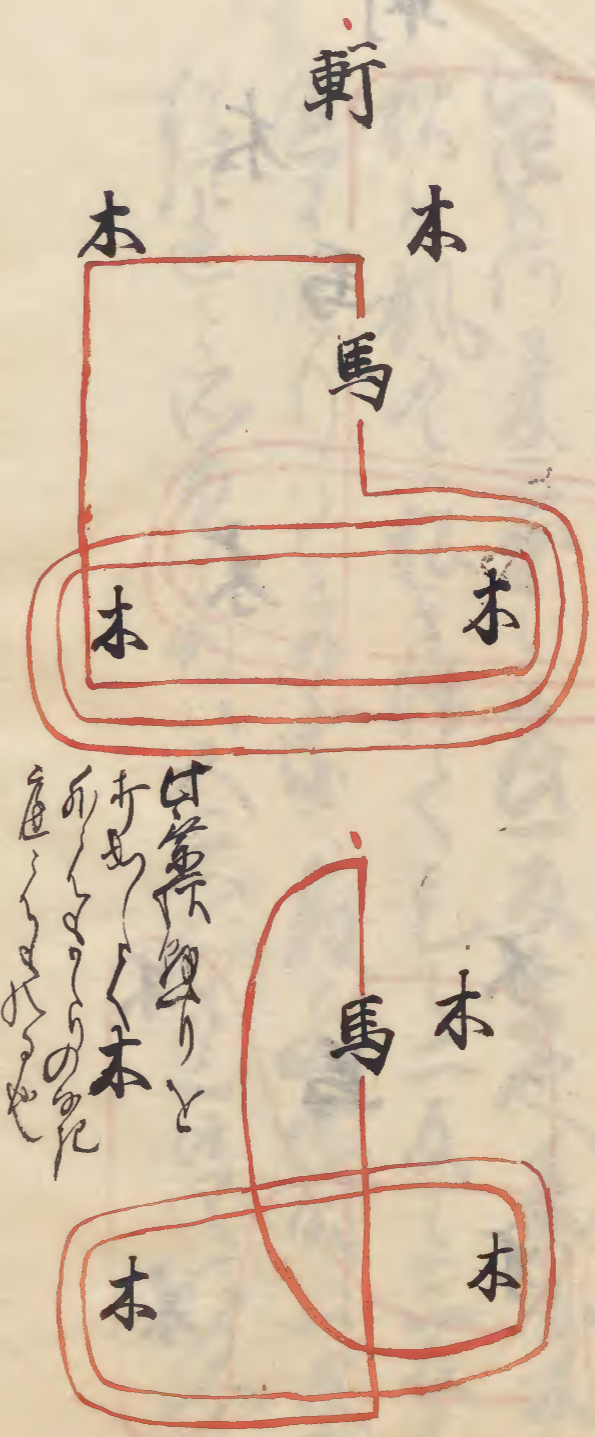
春







此三つよりまじりて木二種ありては  
 の月一にまじりて木三つと漢一  
 木木乃月一にまじりて木二つと



けき下りり  
 けき下りり  
 けき下りり



けき下りり  
 けき下りり  
 けき下りり

軒



日



此  
 是  
 一  
 種  
 對  
 於  
 此  
 種  
 之  
 變  
 化  
 一  
 也

木は木にけりちりくふなほくしほまき  
 全くとまき木は木にけりちりくふなほくしほまき

斬



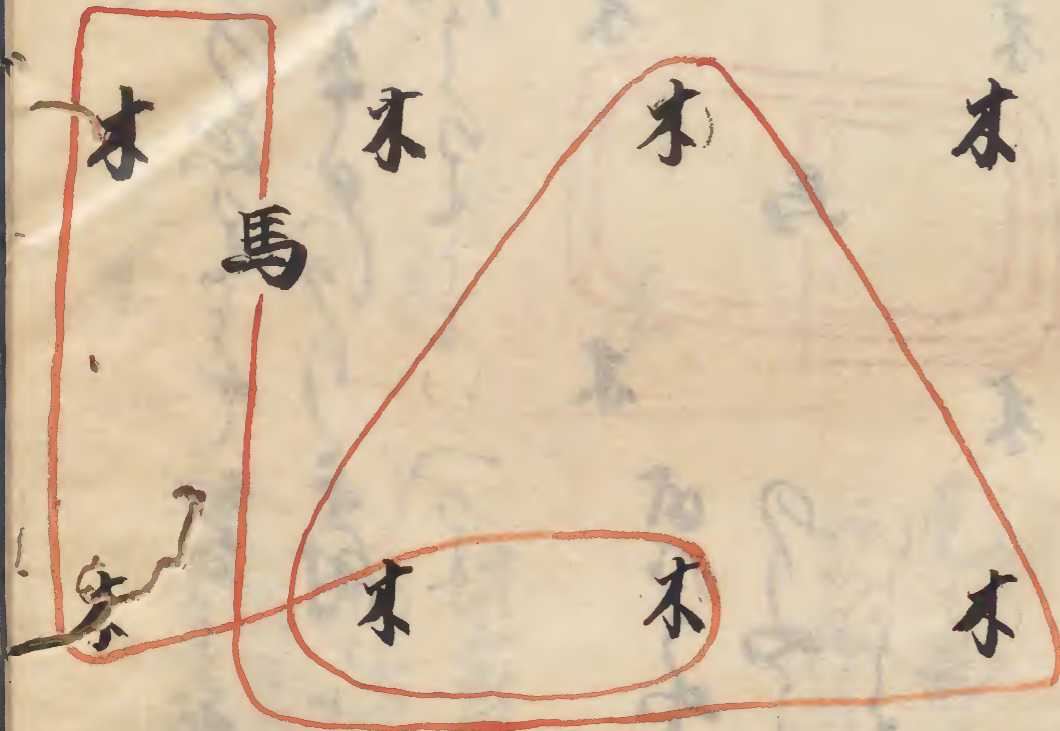
月



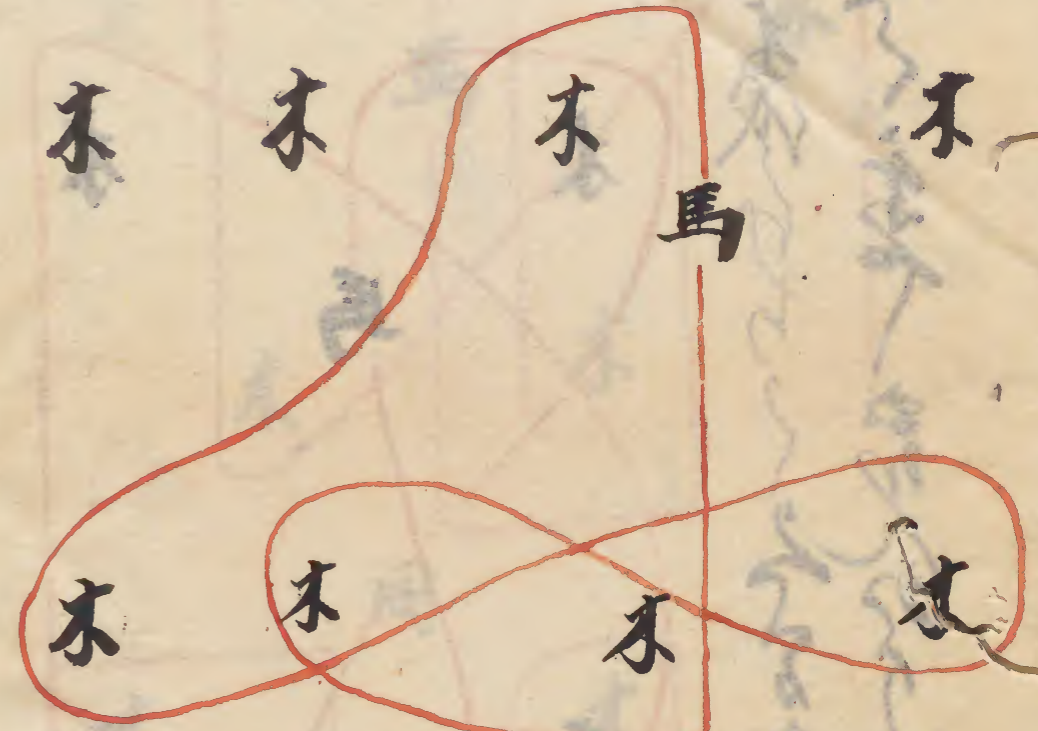
同

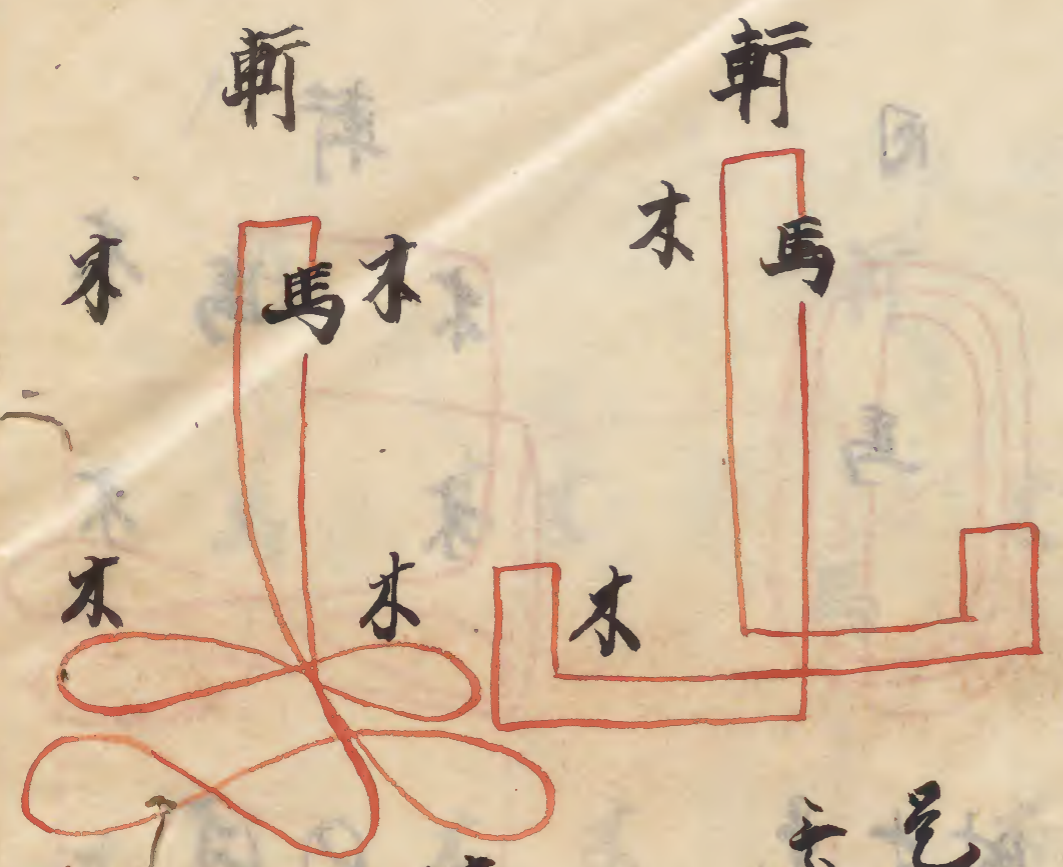


斬



斬





けお板と木まきり  
 のまきりり大板のまきり  
 はおのりおのり  
 木まきり

是のまきり木まきり  
 木まきり



はおのり木まきり  
 のまきりり大板のまきり  
 はおのりおのり

危あゝの懸まきり  
 木まきりり大板のまきり  
 八分入りのまきり

斬

斬

木馬

木木

木

馬

木

木

木

木

月

斬

馬

木

馬

木

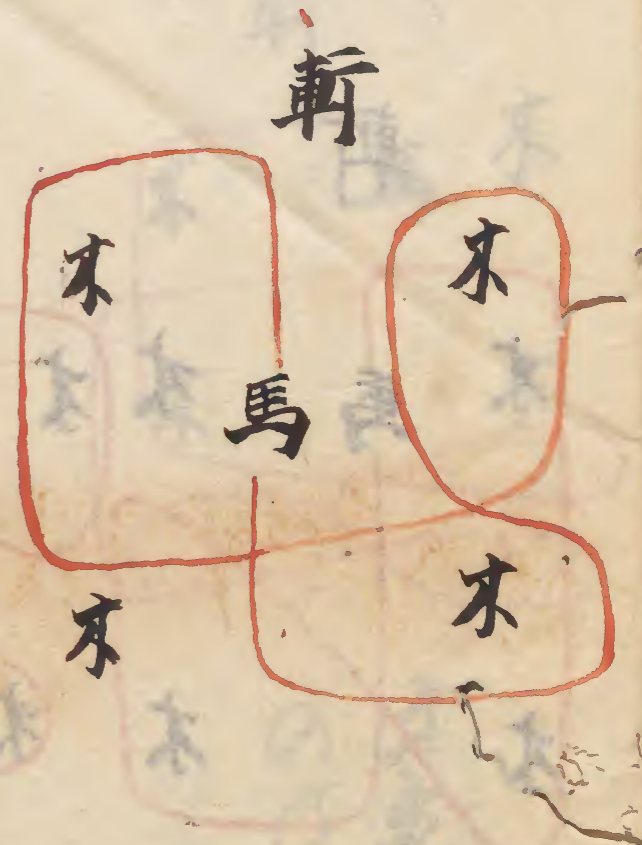
木

木

毛書戸まゝのり  
十の六し其の  
時をよむなり

はまのりし  
のりかぬ

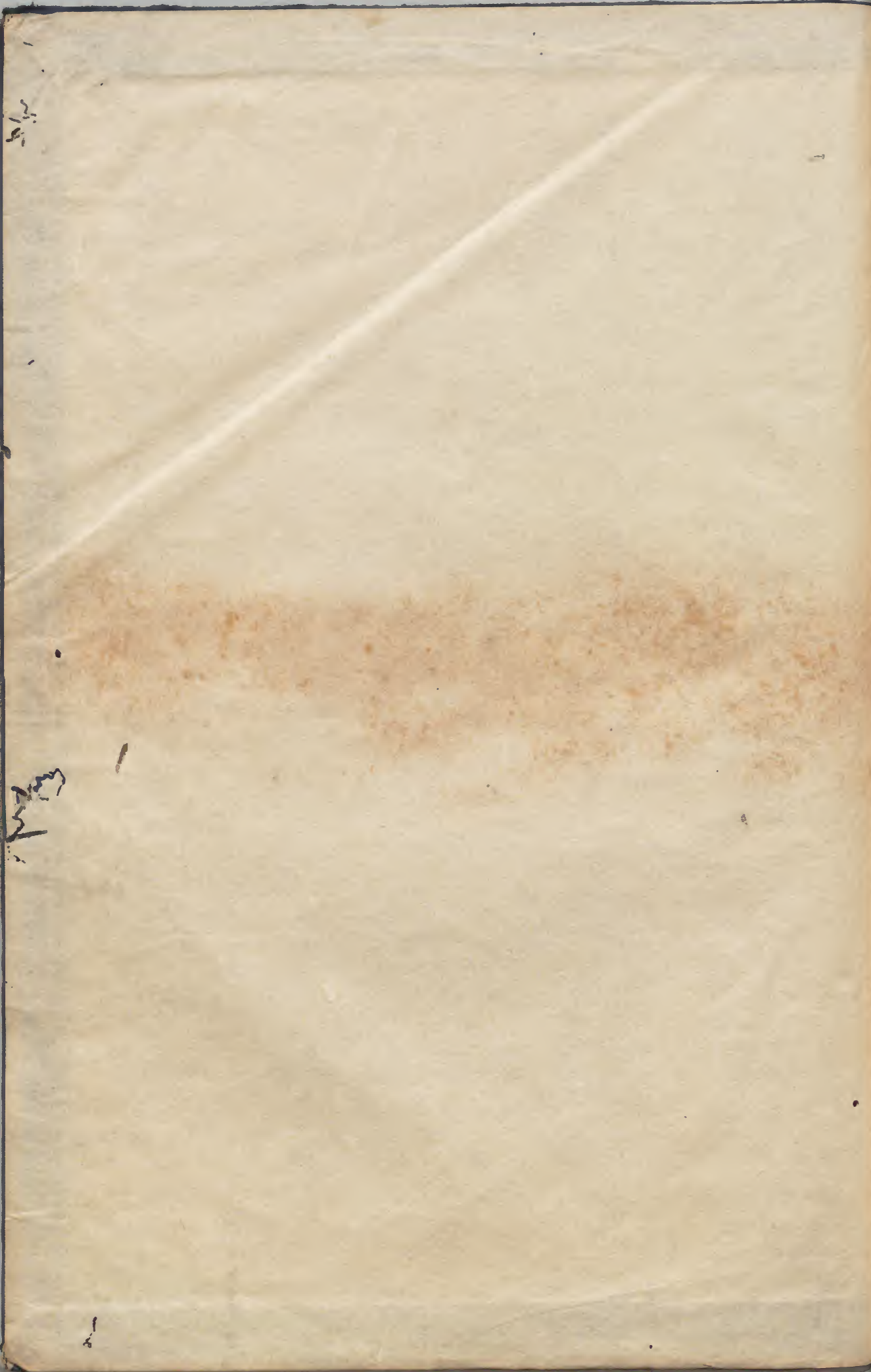
三行の書は存して三行の書  
 行の書は只五位の書に  
 其の書は松と澤と文書の書に  
 之は一但ま類々



右大行一海十三冊  
 鑿帷秘の後遺集  
 校方紙

戊戌  
 九月日





新刊  
 天保  
 九年  
 正月  
 廿日  
 京都  
 西町  
 三丁目  
 三川  
 屋  
 三川  
 屋  
 三川  
 屋

